

平成 27 年度第 6 回青森市子ども会議開催概要

- 1 日時 平成 27 年 10 月 25 日（日） 9 時 30 分～12 時 30 分
- 2 場所 青森市総合福祉センター2 階 集会室
- 3 出席者 平成 27 年度青森市子ども会議委員 16 名（欠席者 12 名）
平成 27 年度青森市子どもサポーター1 名（欠席者 5 名）
事務局 4 名
- 4 活動内容 ・身の回りで興味のあることについての活動
・「子どもの権利条例」の普及啓発活動（子どもの権利の日のイベント）について
- 5 開催概要

今回の会議では、前半は夏休み期間中にグループ別で行った「身の回りで興味のあることについての活動」のまとめ作業を行いました。

青森空襲に関する活動をしている文化グループ「TUBE」は、空襲資料見学や空襲体験者からの聞き取り調査で感じたことを紙に書いていました。イベントでは、パワーポイントを使ったプレゼン形式で発表し、原稿作成などは主に高校生の 2 人が担当するようです。



節水・節電に関する活動をしている環境グループ「Misterioso(ミステリオソ)」は、インターネットで調べたことや市の担当課職員による環境政策への取組に関する講義で感じたことなどを大きな模造紙にまとめていました。この班は資料作成が順調に進んでいました。

青森の健康と食に関する活動をしている健康・食グループ「KKS」は、市の栄養士さんによる食に関する講義などで得た知識をもとに、青森の食材を使ったレシピ考案を行っています。しかし、栄養士さんの講義以降の活動でなかなかメンバーが集合できなかったため、肝心のレシピ考案が思うように進んでいませんでした。今回もレシピの案は出ていましたがなかなかメンバー全員が納得の一品が出てきません。果たして、イベント当日までにレシピを考案して実際に調理することができるのでしょうか。

青森駅・新町周辺の活性化に関する活動をしているまちづくりグループ「3 代目マーチハンターズ」は、夏休み期間中、新町周辺のフィールドワーク調査や街頭でのアンケート調査を行いました。提案していた学校へのアンケート調査の回答は事務局が 9 月中に回収していたので、今回はその回答をまとめる作業を行いました。アンケート調査は、青森東高校（1・2 年生）と青森北高校（全学年）の生徒を対象に行われました。メンバーは、膨大な数のアンケート集計を分担してテキパキと作業を進めていました。

後半は、イベント全体の準備活動を行いました。前回の活動に参加できなかった子ども会議委員もイベントでの役割を決め、作品作成班、企画運営班、脱出ゲーム班の 3 つに分かれて活動しました。

作品作成班は、イラストが得意な子ども会議委員が中心となり、子どもの権利に関する作品を描いていました。また、各学校等へ配布するイベントの開催チラシのデザインを、次回の会議までに完成させてくることにしました。

企画運営班は、前回決まったイベントのプログラムについて、より具体的な時間配分を考えました。また、当日の司会やコンダクター役などを決定し、イベントシナリオの検討をしました。

脱出ゲーム班は、発起人の子ども会議委員が中心となり、「子ども会議版脱出ゲーム」のゲーム内容の検討、当日の進行などを行います。脱出ゲームは子ども会議として初の試みで、事務局としても無事に成功できるか少し不安なところがありました。子ども会議委員の「成功させるので、僕に任せてください！」と頼もしい一言。他の委員の協力とともに当日の成功を目指します。この日は、ゲームで使用する謎解き問題の作成をしました。試しに、他の班の子どもたちに問題に挑戦してもらおうと、なかなかの難問のようで苦戦していました。本番では、作成した問題をカラー印刷して来場者に配布する予定です。



各グループともまだまだ活動を続けたい様子でしたが、時間が来てしまい今回の活動は終了となりました。次回も引き続き、「身の回りで興味のあることについての活動」とイベント全体の準備活動を行う予定としています。